

早田ひな 涙の初優勝!!



早田ひなさんは多忙な中、優勝後すぐに石田卓球クラブに優勝報告に訪れました。

“決心が拓いた女王への道”

今年初めに発表された東京オリンピック代表、第3の枠に選出されず、気落ちしてしまう状況の中、早田ひなさんは悔しさをパワーに変えて全日本選手権初優勝を勝ち取りました。

「五輪代表発表から全日本選手権まで約2週間。いままで逃げてしまったことに向かい合うことにしました。例えば、これまでは、睡眠を取る前に、サービスのことが気になっても、睡眠時間を確保したいので、寝てしまっていたのですが、五輪落選後は、気になったことはその日に納得するまでしよう、と考えるようになりました。その成果がこの全日本選手権に結果として現れたのだと思います。」とインタビューに答えました。

女子選手としては恵まれた166cmの体格を生かし、強打を繰り出すひなさん。準決勝の因縁の同級生対決、女王、伊藤美誠戦はフルセットの大接戦、昨年の雪辱を見事に果たしました。決勝戦の石川佳純さんとの試合では解説の福原愛さんが、早田さんの身体能力の高さを誉め、この打球は日本人では早田さんしか打てないと話していました。中国選手の牙城は簡単には崩せないでしょうが、世界を目指して頑張ってくれることを願っています。

イベント広場復活

バスセンター計画を回避

昨秋より、レインボープラザ前の広場改修工事が始まり、新年号でも一部報告させていただきましたが、これは平成28年にプラザ地下1階の天井材(コンクリート片)の一部が落下したことに伴い、広場やプール等の利用が中止されていたもので、令和元年10月から地下1階のレインボーホール及びプールと地上部分の広場の解体・埋め戻し工事を行っています。令和2年度は埋め戻し後に広場として利用出来るよう舗装・階段・簡易ステージ・トイレ等の整備を進めているものです。この整備に合わせてバスセンターを整備する構想を私が提案させていただいていましたが、この整備は必要最小限の簡易な整備として進めていくこととなり、見送られました。中央町地域は現在、「街づくりプラン」を検討中で八幡東区役所再整備やレインボープラザの大規模改修や建て替えも含めた議論が始まっています。街づくりプランがまとまれば、今秋から全庁的な検討が始まる予定です。



《事業内容》

(1)レインボー広場舗装・階段・簡易ステージ整備工事	
実施設計(R2 4月~7月)	473万円
整備工事(R2 8月~R3 2月)自家用車	2990万円
計	3463万円
(2)レインボー広場トイレ新設工事	
実施設計(R2 11月~R3 3月)	177万円

※トイレ等の新設工事は令和3年度に予定しています。

市政課題

をお気軽にご相談下さい!

11年で4000件以上のご相談を賜りました。子育てや介護、街づくりや老朽空き家対策など様々な相談をいただきました。簡単には解決できない課題も多くありますが、相談実績には誇りをもっております。

生年月日	昭和31年8月21日 八幡東区生まれ		
学歴	北九州市立大蔵小学校卒業 北九州市立大蔵中学校卒業 福岡県立北九州高校卒業 川崎医療短期大学放射線技術科卒業	職歴	福岡県済生会八幡総合病院勤務(診療放射線技師) 平成21年 北九州市議会議員 初当選 平成25年 北九州市議会議員 2期目当選 平成29年 北九州市議会議員 3期目当選
所属	経済港湾委員会委員、保健病院委員長(平成25、26年)、八幡東区議員懇話会会長(平成29年)、議会運営委員会委員(平成30年)、令和元年11月国民民主党福岡県連 代表代行		

白石かずひろ事務所 〒805-0061 北九州市八幡東区西本町二丁目9-5
TEL.093-681-6128 FAX.093-681-6138
e-mail k-sris@hop.ocn.ne.jp URL http://www.shiraishi-k.com

●この市政レポートは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。
●重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが白石かずひろ事務所までご一報ください。

北九州市議会議員 八幡東区

白石かずひろの ハートフル通信

No.43 春号

[発行日] 令和2年4月 [発行人・編集人] 白石一裕

2020

北九州市公共施設、順次開館へ! (リスク低減確認後) ~八幡東区斜面地の区域区分問題を提起(2面掲載)~



季節の移り変わりを忘れるほどの、国難とも言える新型コロナウイルス感染症が世界を震撼させています。WHOはこの新型コロナウイルス感染症のパンデミックを宣言しました。

日本でも、この影響は大変大きく、政府による

突然の小中学校等の休校要請や各種イベントの開催中止、延期など連日、報道がなされています。各自治体の行政運営にも様々な影響が見られ、本市でも新型コロナウイルス感染症対策のため、2月議会の日程が変更され、通常およそ1ヶ月に及び予算議会が約2週間に圧縮され、一般質疑を取り止めるなど、市議会としてもこれまでに例のない対応をしています。

地域にも暗い影を落としており、中でも経済の後退が懸念されます。休業補償や中小企業対策も打ち出されていますが、目に見えない損失も含め、経済への影響は計り知れないものがあると感じます。小倉や黒崎の飲食街も閑散としており、歓送迎会などの開催自粛から団体客のキャンセルが相次ぎ、「閉店の危機」を訴える経営者も少なくありません。新年度はいつもとは違う緊張感の中でのスタートになりそうですが、誰もが「住みたい、住み続けたい」と実感できるまちづくりに向け、様々な課題の解決に全力で取り組んで参ります。

2月19日にイオンモールから、スペースワールド跡地の開発計画「(仮称)八幡東田プロジェクト」の計画概要とコンセプトが発表されました。出店業態については、既存のイオンモール八幡東との相乗効果を図れる業態として、地域創生型商業施設「THE OUTLETS」として、2022年春のオープンを目指し計画を進めるとしています。(詳細は3面掲載)

一方2月議会では、一般会計予算が5702億

生活不安への措置、市税における猶予制度新設、公共料金検討!

9800万円で前年比0.7%減としたものの、過去3番目の規模となっています。主な事業として、日中韓3か国による文化事業「東アジア文化都市」の開催で街のにぎわいの創出などを図ることにしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で開幕式典が延期となっています。一日も早く収束し、予定どおりに事業が開催されることを望みます。また洋上風力発電産業の総合拠点形成に向けた取組みなどによる経済成長戦略を描いています。予算全体をみてみますと、歳入では市税収入が前年度当初予算より0.5%増の1762億3600万円で過去最大になりました。歳出では人件費や扶助費などの義務的経費が57%を占めていますが、このうち扶助費は幼児教育・保育の無償化の通年実施による増加もあり過去最大の1472億円(前年度比26億円増)となりました。

昨年は新しい時代「令和」が幕を開け、門司港駅、小倉城のリニューアルオープンや、ラグビー・ウェールズ代表との交流を通じて本市のおもてなしが世界へ発信されたこと、九州初上陸となる「平成中村座の小倉城公演」や、「ギラヴァンツ北九州のJ2昇格」など、本市の活性化につながる明るい兆しを感じる事が多い1年でした。このような中、新型コロナウイルスの感染症の蔓延により、日本だけでなく世界が危機的な状況を迎えています。不透明な状況が続くことが予想されますが、経済対策などにしっかりと取り組み、本市の「子育て環境」や「暮らしやすさ」「住みよさ」などの特徴を生かし、さらに魅力ある「北九州市」を目指していきます。

白石かずひろ市政報告会 (励ます会)日程延期のお知らせ

当初開催予定の4月20日を中止し

6/22日 大谷会館 八幡東区大谷1-2-4
18:00~ に日程を延期しました。

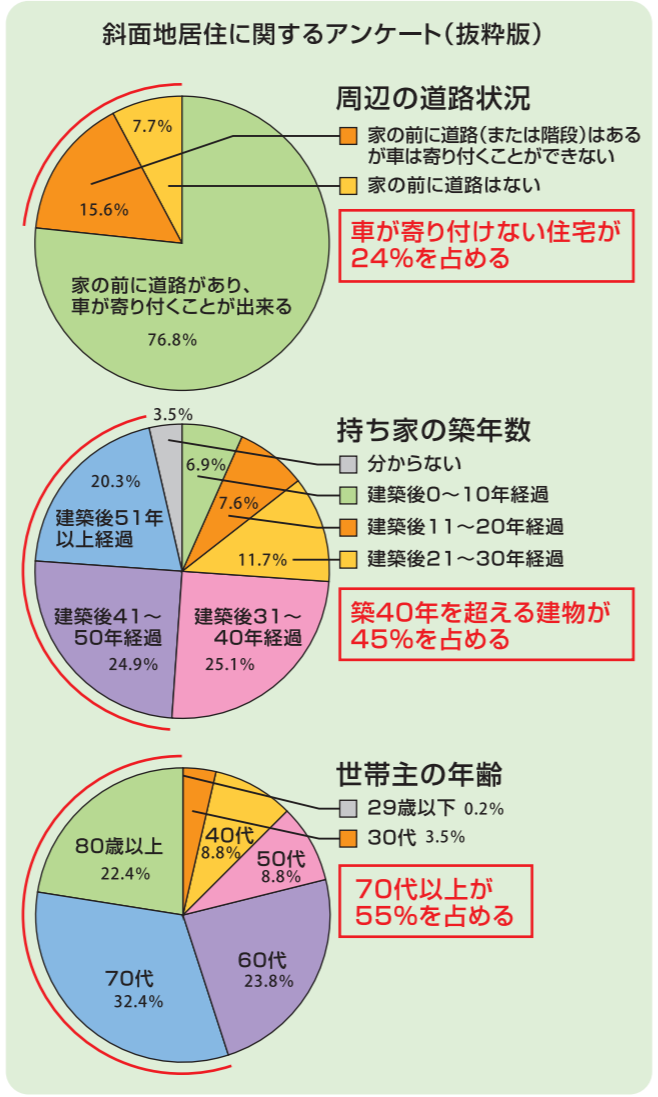
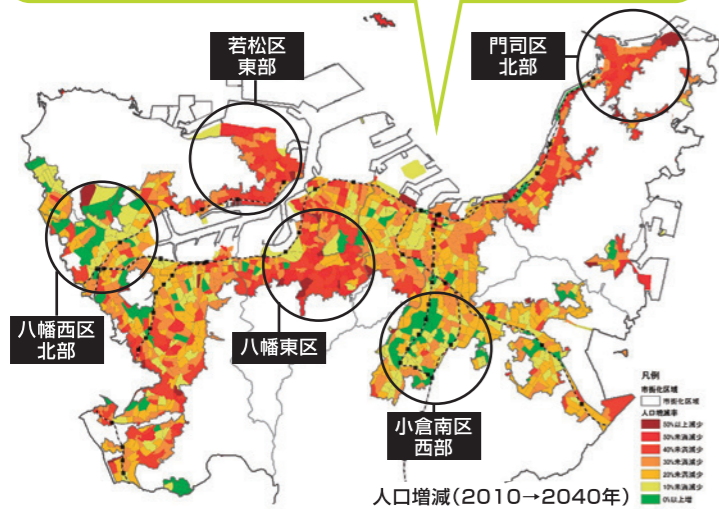
斜面地住宅地等、区域区分見直し問題!!

※いつでも区域区分見直しについてご相談下さい。

前号でもご報告しましたが、多くの皆さまから、この課題の問い合わせをいただきますので、再度、提起したいと思います。ご存知の方が多数と思いますが、「区域区分見直し方針」の内容をご存知ない方は、北九州市のホームページや市政だよりなどをご覧ください。この問題は高台にお住いの方々の高齢化や近年多発する豪雨災害が発端となって議論され始めた案件です。市は昨年市民から意見募集を行いました。わずか10件の意見が寄せられたばかりです。しかし今回の見直しに係る対象となる建物は約5400棟、対象人口は約1万人にのぼります。1万人の生活に関わる課題に対して10人の意見は0.1%の声にすぎず、もう少し丁寧な意見聴取が必要と考えています。

確かに、アンケート結果の円グラフで示されているように、住民の高齢化や、持ち家の築年数や周辺道路状況など、住民の皆さんの生活環境にも大きく左右される問題です。何より30年後の人口動態をみると八幡東区の斜面地は高齢化率50%以上になることが予測されており、自治会などのコミュニティを維持していくには厳しいものを感じます。そのような観点や防災面での不安を考えると街なか居住が理想ともいえます。今後30年でこの計画を推し進めるには多くの住民理解が必要と考えますが、今の計画では移転補助や資産価値の低下に対応する施策が盛り込まれておらず、理解が進んでいないように感じています。たとえば国の高齢化社会モデル事業のようなプランを策定していただき成功モデルを作ることが肝要と考えます。この問題については2月議会でも質疑する予定でしたがコロナウイルス感染対策の余波で約2週間の議会短縮があり今回は叶いませんでした。引き続きこの課題に正面から取り組んでいく事をお約束する次第です。

人口増減率 八幡東区、若松区東部、門司区北部で人口減少率が高くなっています。一方で、小倉南区西部、八幡西区北部では人口が増加している地域も見受けられます。



ポテトのひとりごと

こんにちはポテトです!皆さま、いかがお過ごしでしょうか?新型コロナウイルスの感染が広がって日本だけでなく世界中が大変なことになっていますね。お仕事にも、普段の生活にも影響が出ている方がたくさんいらっしゃるかとポテトも聞いています。我が家はといいますと、母さんは病院のお仕事なので、普段通り毎日お仕事に出かけています。でも、病院は人の出入りが多いので感染対策が大変なようです。父さんというと、地域の行事やイベントが中止になり、そして議会も2週間程短縮になったので家にいる時間が増えました。ポテトとミロはいつでもご飯もらえるし、茶太郎はゲージから解放されて良かったのですが、母さんは違いました!仕事から帰ると、父さんの第一声が「腹減って死にそう!」なのです。3日目に母さんは「明日から晩御飯作りません!!」と怒ってしまいました。料理のできない父さんが思いついた事は「お惣菜を買ってくる」でした(笑)父さん、こんな時こそ家の事を手伝って母さん助けてあげてね!

待ち遠しいな!! 新桃園市民プール



昨年2月5日に起工式が行われた、新桃園市民プールが間もなく完成を迎えます。老朽化が顕著となった同施設の建て替えにあたり、かなり以前から各種団体をはじめ個別にもご要望をいただき、建て替えに向けた要望や議会での質疑を重ねてきました。市民の健康増進や、市内唯一の屋内50m公認プールとして各種競技大会の開催にも期待がもたれます。私はこういった皆さまの思いを遂げるため、**本年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致の提案をさせていただき、建て替えが現実のものとなりました。**延床面積

6500㎡、地上2階建てで、50m公認8レーン、25m公認6レーン、児童プールは150㎡で観客席800席に加え、各種競技に必須の大型ピジョンを備え、総工費は約39億円となっています。

桃園地区は児童文化科学館の東田移転に伴いスポーツゾーンとして整備が進む予定になっています。また以前より課題であった慢性的な駐車場不足も一定程度のスペースが確保される見込みです。**利用開始は今年6月頃**になる予定です。コロナウイルスの影響により東京オリンピック・パラリンピックの開催も危ぶまれています。本市でも外国からのキャンプがキャンセルになるなど、先行きが不透明な中ではありますが、地元にとってもこのプールの果たす役割は大変大きいものがあると思われま。



当プロジェクト 鳥獣パース ※イメージです。変更となる場合があります。



イオンモール新施設計画概要を公表!



「THE OUTLETS (ジ・アウトレット)」が2022年春開業予定!!

スペースワールド閉園から2年数か月、ようやくイオンモール(株)から跡地開発について具体的な計画が発表されました。新春号でも報告させていただきましたが、以前から予想されていた、アウトレットモールも含み、移転予定の新科学館や、博物館等の周辺環境との連携による「北九州市の新たなランドマーク(観光拠点施設)」を目指した整備が行われる予定です。

発表によりますと、アウトレットエリアには120店舗以上が出店し、エンターテインメント、カルチャー、食を融合した今までにない大型商業施設となる予定です。

なお移転予定の児童文化科学館をSW駅前の東田二丁目交差点付近に建設することとしています。移転後は多目的に使えるプラネタリウムを備え、ロボットや宇宙などをテーマに全世代を対象とした科学館になる見込みです。

当地区は都市高速の枝光ICやJRスペースワールド駅に隣接しているという交通アクセスのよさや、世界遺産「宮官八幡製鐵所」やいのちのたび博物館、イノベーションギャラリー、環境ミュージアムなどの文化施設も集積しており現在も観光拠点になっていることから、今後の相乗効果に期待がもたれます。

発表された新プロジェクト概要では、既存の「イオンモール八幡東」との相乗効果を図れる業態となり、「地域創成型商業施設THE OUTLETS」として2022年春のオープンを目指すとしています。



ゾーニング計画 ※現段階の計画であり、変更になる場合があります。

名称 THE OUTLETS(ジ・アウトレット) (仮称)八幡東田プロジェクト計画概要

敷地面積	約270000㎡
延床面積	約75000㎡
総賃貸面積	約58500㎡
駐車台数	約4000台
開店予定	2022年春
イオンモール福岡	約210000㎡
スペースワールド跡地	約270000㎡
※イオンモール福岡の敷地面積のおよそ1.3倍の広さ	